

- (1) 正解②・⑤・⑦・⑧: V-ing が動名詞として用いられているものを4つ選ぶ。

[解説]この問題は、V-ing の用法—動名詞・現在分詞・分詞構文・名詞の識別を問う問題です。

② collecting は My favorite hobby is collecting ... の形で、主語 My favorite hobby の内容を説明する補語となる動名詞です。⑤ talking は enjoys talking の形で、動詞 enjoy の目的語となる動名詞です。⑦ Learning は Learning a foreign language requires ... の形で、文全体の主語となる動名詞です。⑧ studying は interested in studying ... の形で、前置詞 in の目的語となる動名詞です。一方、① waiting は the girl を後ろから修飾する現在分詞、③ Walking は「駅を歩いている」という意味の分詞構文、④ building は「建物」という完全な名詞、⑥ sleeping は baby を前から修飾する現在分詞です。V-ing を見たら、まず文中で「名詞として働いているか」「名詞を修飾しているか」「副詞的に文全体を修飾しているか」を確認することが識別の基本です。

- (2) 正解③: 両親の世話をすることは、子どもの務めの一つである。

[解説]この問題は、主語になる動名詞を問う問題です。Taking care of their parents 全体が文の主語となり、「両親の世話をすること」という意味になるため、③ Taking が正解です。

① Take は動詞の原形で、この位置では通常、文の主語にはなりません。② Taken は take の過去分詞で、「取られた」という受動的な意味になり、文意に合いません。④ Took は過去形であり、主語として用いることはできません。動名詞は〈V-ing + 目的語・修飾語〉全体で名詞句を作り、文の主語になることができるという基本を押さえましょう。また、take care of A「Aの世話をする」も重要表現です。

- (3) 正解④: 列車に乗ろうとして急ぐことは危険な場合がある。

[解説]この問題は、主語になる動名詞を問う問題です。Rushing to catch a train 全体が文の主語となり、「列車に乗ろうとして急ぐこと」という意味になるため、④ Rushing to catch が正解です。① Rush for catch は、catch が動詞なので for の後にそのまま置くことができません。② Rush to catch は動詞句としては正しい形ですが、文頭で主語にするには Rushing と動名詞にする必要があります。③ Rushed for catch は過去分詞と for の組み合わせが不適切です。rush to do「急いで～する」という表現を動名詞化すると rushing to do になることを確認しておきましょう。

- (4) 正解②: 私の兄は暇なときに SF 小説を読むことを楽しんでいる。

[解説]この問題は、動名詞を目的語に取る動詞 enjoy を問う問題です。enjoy reading science fiction novels が「SF 小説を読むことを楽しむ」という自然な形になるため、② reading が正解です。① read は動詞の原形で、enjoy の直後には置けません。③ to reading は、enjoy の後に前置詞 to は必要ないため誤りです。④ having read は完了動名詞で「読んだこと」という先行する行為を強調しますが、この文では日常的に「読むことを楽しむ」という意味なので不適切です。enjoy・avoid・finish・mind・practice などは動名詞を目的語に取る代表的な動詞としてまとめて覚えておきましょう。

- (5) 正解③: 彼女は十分な情報を得るまで、その問題について話すことを避けた。

[解説]この問題は、動名詞を目的語に取る動詞 avoid を問う問題です。avoid talking

about the problem が「その問題について話すことを避ける」という意味になるため、③ talking が正解です。① talk は原形、② to talk は不定詞ですが、avoid は目的語に to 不定詞を取らず、動名詞を取る動詞です。④ to talking は前置詞 to を必要としないため誤りです。avoid doing「～することを避ける」は入試頻出の語法なので、動詞と後続する形をセットで覚えておきましょう。

- (6) 正解②: 放課後の私の好きな活動は、公園で友達とテニスをするることである。

[解説]この問題は、補語になる動名詞を問う問題です。My favorite activity after school is playing tennis ... の形で、playing tennis with my friends in the park が主語 My favorite activity の具体的な内容を説明する補語となるため、② playing tennis が正解です。① play tennis は動詞の原形なので、be 動詞の後で名詞的な補語にはなりません。③ played tennis は過去形・過去分詞であり、「活動＝テニスをした」という関係にはできません。④ to playing tennis は前置詞 to が不要です。S is doing を見たときには進行形と決めつけず、主語と V-ing が「A=B」の関係なら動名詞の補語である可能性があることに注意しましょう。

- (7) 正解③: 病院での彼の主な責任の一つは、高齢の患者の世話をすることである。

[解説]この問題は、補語になる動名詞を問う問題です。One of his main responsibilities ... is caring for elderly patients の形で、caring for elderly patients が「主な責任」の内容を具体的に説明しているため、③ caring for が正解です。① care for は原形なので、この位置で名詞的な補語にはなりません。② cared for は過去形・過去分詞であり、主語との意味関係が成立しません。④ to caring for は前置詞 to が不要です。care for A「Aの世話をする」という熟語とともに、動名詞が be 動詞の補語になる用法を押さえておきましょう。

- (8) 正解③: 多くの点で、オートバイに乗ることは車を運転することとはかなり異なる。

[解説]この問題は、前置詞の目的語になる動名詞を問う問題です。be different from A「Aとは異なる」の from は前置詞なので、その後に動詞を置く場合は動名詞にします。したがって③ driving a car が正解です。① to drive a car は不定詞ですが、前置詞 from の後に不定詞を直接置くことはできません。② you drive a car は節ですが、from の目的語としてそのまま置くことはできません。④ when driving a car は「車を運転するとき」という副詞的な意味になり、比較対象として不適切です。前置詞+V-ing は動名詞の最重要基本形で、from・by・of・without・in などの後では特に注意しましょう。

- (9) 正解①: もっと運動をすることによって、健康を改善することができる。

[解説]この問題は、前置詞 by+動名詞を問う問題です。by doing は「～することによって」と手段・方法を表します。そのため by doing more exercise が「もっと運動をすることによって」となり、① doing が正解です。② does は三人称単数現在形、③ to do は不定詞、④ do は原形であり、いずれも前置詞 by の直後には置けません。by doing「～することによって」は、英作文・書き換え問題でも頻出なので、ひとかたまりで覚えておきましょう。

- (10) 正解③:彼はサッカーをすることが好きである。

[解説]この問題は、前置詞の目的語になる動名詞を問う問題です。be fond of A は「A が好きである」という熟語で、of は前置詞です。そのため動詞 play を続ける場合は動名詞にして、be fond of playing soccer とするため③ playing が正解です。① to play は不定詞で、前置詞 of の後には置けません。② play は原形、④ played は過去形・過去分詞であり、この位置には適しません。be fond of doing「～することが好きである」のように、前置詞を含む熟語の後では動名詞を用いることを確実に身につけましょう。

- (11) 正解①:彼は誰にも見られずに部屋を出た。

[解説]この問題は受動態の動名詞を問う問題です。without は前置詞なので、後ろに動詞を置く場合は動名詞にします。さらに、主語 He は「見る」のではなく「見られる」側なので、being＋過去分詞の形にして without being seen「見られることなく」とするため、① being が正解です。② having seen では「見たこと」という能動の意味になります。③ be は原形、④ to be は不定詞なので、前置詞 without の後には置けません。without being done「～されることなく」は、前置詞＋受動態の動名詞の基本形として覚えておきましょう。

- (12) 正解③:彼女はいつも間違いをすることを恐れている。

[解説]この問題は前置詞の目的語になる動名詞を問う問題です。be afraid of A は「A を恐れている」という表現で、of は前置詞です。そのため、後ろに動詞 make を置く場合は動名詞にして be afraid of making mistakes とするため、③ making が正解です。① made は過去形・過去分詞、② make は原形、④ to make は不定詞なので、いずれも前置詞 of の目的語にはなりません。前置詞＋V-ing という動名詞の基本原則を確実に押さえましょう。

- (13) 正解④:母は私があまりにも怠け者であることに不平を言っている。

[解説]この問題は動名詞の意味上の主語を問う問題です。complain of doing の of は前置詞なので、その後には動名詞を置きます。「怠け者である」のは母ではなく「私」なので、being の前に意味上の主語を置き、my being too lazy とするため、④ my being が正解です。① I am は節をそのまま前置詞 of の後に置いているため不適切です。② I being は意味上の主語に主格 I を用いているため誤りです。③ me to be は不定詞を用いているため適しません。動名詞の意味上の主語は、原則として所有格＋V-ing で表すことを覚えておきましょう。

- (14) 正解①:その紳士は私がお金を受け取ることを強く主張した。

[解説]この問題は動名詞の意味上の主語を問う問題です。insist on doing は「～することを強く主張する」という表現で、on は前置詞なので動名詞を続けます。さらに、「お金を受け取る」のは the gentleman ではなく「私」なので、receiving の意味上の主語を所有格で表して my receiving the money とするため、① my receiving が正解です。② my reception は「私の受け入れ・歓迎」という名詞で文意が異なります。③ me to receive は insist on の後の形として不適切です。④ should receive には主語がありません。insist on A's doing「A が～することを主張する」という形を押さえおきましょう。

- (15) 正解③:トムと夕食を食べたとき、彼が食事中ずっと携帯電話で話していたので私は腹を立てた。

[解説]この問題は動名詞の意味上の主語を問う問題です。get angry at A「A に腹を立てる」

の at は前置詞なので、後ろには動名詞を置きます。「携帯電話で話していた」のは Tom なので、talking の意味上の主語として所有格 his を置き、at his talking on his cell phone とするため、③ his talking が正解です。① he talks と② he talked は節なので、前置詞 at の直後には置けません。④ he talking は主格 he を用いているため不適切です。前置詞 + 所有格 + V-ing の語順を確認しておきましょう。

- (16) 正解③: 姉は私がその問題を自分で解くよう強く主張した。

[解説]この問題は insist on doing と動名詞の意味上の主語を問う問題です。insist on doing は「～することを強く主張する」で、「その問題を解く」のは my sister ではなく「私」です。そのため、solving の意味上の主語を所有格 my で表し、insisted on my solving the problem とするため、③ on my solving が正解です。① me to solve は insist がこの形を取らないため誤りです。② on me to solve は前置詞 on の後に不定詞を続けているため不適切です。④ that I should be solved では I が「解決される」という意味になってしまいます。insist on A's doing は重要語法です。

- (17) 正解③: A: この公園はどうですか。—B: すばらしいです! こんな騒がしい街にこれほど静かな場所があるとは夢にも思いませんでした。

[解説]この問題は there be 構文を動名詞にした形を問う問題です。dream of doing の of は前置詞なので、その後には動名詞相当の表現が必要です。there is [are] ～ を動名詞化すると there being ～ となるため、③ there being が正解です。① being だけでは「静かな場所が存在する」という意味を表せません。② having been は完了・受動の形で文意に合いません。④ there to be は前置詞 of の後の形として不適切です。there being ～「～があること」は、独立分詞構文などでも現れる重要な形です。

- (18) 正解①: 高価な贈り物を受け取るよう強く求めれば、たいていのアメリカ人は居心地の悪さを感じるだろう。

[解説]この問題は動名詞の意味上の主語を問う問題です。insist on doing の形を用い、「高価な贈り物を受け取る」のは most Americans に相当する they なので、accepting の意味上の主語には所有格 their を置きます。したがって① their accepting が正解です。② them accepting は口語では用いられることがありますが、文法問題では所有格 their が基本です。③ their acceptance は名詞ですが、「贈り物を受け取る」という動作を直接表す形ではありません。④ them to accept は insist on の後には用いません。動名詞の意味上の主語＝所有格 + V-ing を基本として覚えましょう。

- (19) 正解④: ベティのお母さんは、あなたが毎晩彼女に電話をすることについて不平を言わないのですか。

[解説]この問題は前置詞 + 動名詞と意味上の主語を問う問題です。complain about doing は「～することについて不平を言う」という表現で、about は前置詞です。「電話をする」のは you なので、calling の意味上の主語を所有格 your で表して about your calling her up とするため、④ your calling her up が正解です。① for your calling は前置詞が違います。② that you call は about の後に that 節を直接置いているため不適切です。③

you call も節なので前置詞の目的語にはなりません。call A up「Aに電話をする」も合わせて確認しましょう。

- (20) 正解③:私はそのように扱われることにはまったく慣れていない。

[解説]この問題は受動態の動名詞—being done を問う問題です。be used to doing は「～することに慣れている」で、to は前置詞なので動名詞を続けます。また、主語 I は「扱う」のではなく「扱われる」側なので、受動態の動名詞 being treated とするため、③が正解です。① treated だけでは動名詞になりません。② treating では「扱うこと」という能動の意味になります。④ treat は原形なので前置詞 to の後には置けません。be used to being done「～されることに慣れている」という形まで使えるようにしましょう。

- (21) 正解①:合意に達する可能性はほとんどない。

[解説]この問題は受動態の動名詞を問う問題です。probability of doing の of は前置詞なので、後ろには動名詞を置きます。また、an agreement は「合意に達する」のではなく「合意に達せられる」ものなので、受動態にして being reached とするため、①が正解です。② is reached と④ will be reached は述語動詞を含む節で、前置詞 of の直後には置けません。③ reaching では an agreement が reach するという能動関係になってしまいます。前置詞+being+過去分詞が受動態の動名詞の基本形です。

- (22) 正解①:私は彼からそのようなことをあんなに失礼な態度で言われるのが好きではない。

[解説]この問題は受動態の動名詞を問う問題です。主語 I は「そのようなことを言う」のではなく、him に「言われる」立場なので、being+過去分詞を用いて being told those things by him とするため、① being told が正解です。② having told は「言ったこと」という能動・完了の意味、③ telling も能動の意味になります。④ to tell では「言うこと」という意味になり、受動関係を表せません。動名詞でも通常の動詞と同じように、能動 doing / 受動 being done の対立があることを押さえましょう。

- (23) 正解④:私は電車の中でその老婦人に親切にできなかったことを恥じている。

[解説]この問題は否定の完了動名詞を問う問題です。「親切にできなかった」のは ashamed と感じている時点より前のことなので、having been という完了動名詞を用います。さらに動名詞を否定する not はその直前に置くため、of not having been kind となり、④ of not having been が正解です。① not of having been は not の位置が不適切です。② having been not、③ having not been も標準的な否定語の位置ではありません。not having done / not having been ～ の語順は頻出です。

- (24) 正解②:彼は自分の主張をうまく伝えられなかったことを恥じていた。

[解説]この問題は動名詞の否定を問う問題です。be ashamed of doing は「～することを恥じる」で、「～することができない」は not be able to do と表します。これを動名詞にすると、否定語 not を being の前に置いて not being able to make his point となるため、②が正解です。① being not able to よりも not being able to が標準的な語順です。③ being impossible では人を主語にして「不可能である」としており不自然です。④は

incapable of doing とすべきで、incapable to do とはしません。動名詞の否定は not+V-ing が原則です。

- (25) 正解①:その母親は、子どもたちが暗くなってから公園で遊ばないよう強く求めた。

[解説]この問題は意味上の主語を伴う否定の動名詞を問う問題です。insist on doing の on は前置詞なので動名詞を続け、「遊ばないこと」は not playing と表します。her children が playing の意味上の主語となるため、① not playing が正解です。② not to play は不定詞なので on の後には置けません。③ having not to play は語順・意味ともに不適切です。④ not to have played も不定詞なので誤りです。A's not doing「A が～しないこと」という形を確認しておきましょう。

- (26) 正解①:彼は報告書でそのような不注意な間違いをしたことを謝った。

[解説]この問題は完了動名詞—having done を問う問題です。間違いを「した」のは apologized より前なので、時間的な先行関係を明確にするため having+過去分詞を用います。make の過去分詞は made なので、① having made が正解です。② have made は動名詞ではありません。③ having make は having の後に原形を置いているため誤りで、過去分詞 made が必要です。④ to have made は完了不定詞で、前置詞 for の後には置けません。前置詞+having done の形を確実に覚えましょう。

- (27) 正解②:私は以前の先生にそのような失礼な手紙を書いたことを後悔している。

[解説]この問題は完了動名詞を問う問題です。「手紙を書いた」という行為が regret している時点より前に起こっていることを明確に表すため、having+過去分詞を用います。

write—wrote—written なので、② having written が正解です。① having wrote は having の後に過去形 wrote を置いているため誤りです。③ have written は現在完了の形で動名詞ではありません。④ to having written は不要な to が付いています。having+過去分詞という形だけでなく、不規則動詞の過去分詞にも注意しましょう。

- (28) 正解①:彼女はもっと早く両親に真実を話さなかったことを後悔した。

[解説]この問題は否定の完了動名詞を問う問題です。「両親に真実を話さなかった」という行為は regretted より前のことなので完了動名詞 having told を用い、さらにこれを否定して not having told とします。したがって①が正解です。② having not told は not の位置が不適切です。③ not have told は動名詞になっていません。④ not having tell は having の後が原形 tell になっており、過去分詞 told が必要です。not having done「～しなかったこと」は完了動名詞の重要な否定形です。

- (29) 正解①:彼女は息子が最初の挑戦でその難しい試験に合格したことを誇りに思った。

[解説]この問題は意味上の主語を伴う完了動名詞を問う問題です。「試験に合格した」のは she ではなく her son なので、これが having passed の意味上の主語になります。また、合格したことは was proud より前なので、完了動名詞 having passed を用います。したがって①が正解です。② have passed は動名詞ではありません。③ having pass は having の後に原形を置いているため誤りです。④ to have passed は完了不定詞で、前置

詞 of の後には置けません。A's having done「A が～したこと」という形を理解しておきましょう。

- (30) 正解①:彼はそのような若さでチームの主将に選ばれたことを誇りに思っていた。

[解説]この問題は受動態の完了動名詞—having been done を問う問題です。主語 He は captain に「選ぶ」のではなく「選ばれる」側なので受動態が必要で、さらに選ばれたことは was proud より前の出来事です。そのため、having been+過去分詞を用いて having been chosen とするため、①が正解です。② having chosen は「選んだこと」という能動の意味です。③ being chosen は受動態の動名詞ですが、完了の意味が明確ではありません。④ have been chosen は動名詞ではありません。doing → being done、having done → having been done という対応関係を整理しておきましょう。

- (31) 正解②:彼女は以前の雇用主から不当に扱われたことについて不満を述べた。

[解説]この問題は受動態の完了動名詞—having been done を問う問題です。主語 She は「扱う」のではなく、former employer から「扱われる」側なので受動態が必要です。また、不当に扱われたことは complained より前の出来事なので、having been+過去分詞を用いて having been treated とするため、②が正解です。① having treated は「扱ったこと」という能動の意味になります。③ being have treated は語順が成立しません。④ have been treated は現在完了の形で、前置詞 about の目的語となる動名詞ではありません。having done「～したこと」/having been done「～されたこと」の対比を確実に理解しておきましょう。

- (32) 正解②:私はあなたにそれほど迷惑をかけたことを申し訳なく思っている。

[解説]この問題は that 節と動名詞の書き換え—be sorry for doing を問う問題です。(a) の I am sorry that I caused you so much trouble. の that 節を動名詞を用いて表すと、I am sorry for causing you so much trouble. となるため、② causing が正解です。① cause は原形で、前置詞 for の後には置けません。③ caused は過去形・過去分詞、④ to causing は不要な to が入っています。be sorry for doing「～したことを申し訳なく思う」は、that 節との書き換えで頻出する表現です。

- (33) 正解①:彼はそのようなひどいことをついたことを恥じていた。

[解説]この問題は that 節と完了動名詞の書き換えを問う問題です。(a) の he had told は、was ashamed より前の出来事を表しています。この時間関係を動名詞で明確に表すには、having+過去分詞を用いて He was ashamed of having told such a terrible lie. とするため、① having told が正解です。② being told は「言われること」という受動の意味、③ have told は動名詞ではありません。④ to have told は完了不定詞で、前置詞 of の後には置けません。that S had done ↔ having done の書き換えを覚えておきましょう。

- (34) 正解②:彼女は息子がその大会で優勝したことを誇りに思った。

[解説]この問題は意味上の主語を伴う完了動名詞への書き換えを問う問題です。(a) の that her son had won the competition を動名詞句にすると、「優勝した」のは her son なので、これを意味上の主語として残し、her son having won the competition とします。した

がって② having won が正解です。① winning では過去の先行関係が明確になりません。③ to have won は完了不定詞、④ being won は「勝ち取られる」という受動の意味になり、文意に合いません。that+S+had done ⇔ S's / S+having done の対応を押さえましょう。

- (35) 正解①:彼女は入学試験に合格できなかったことに失望した。

[解説]この問題は否定の完了動名詞への書き換えを問う問題です。(a) の she had not passed は「合格しなかった」という過去の行為なので、完了動名詞 having passed を否定して not having passed とします。したがって①が正解です。② having not passed は否定語 not の位置が不適切です。③ not have passed は動名詞の形になっていません。④ not having been passed は受動態になり、「彼女が合格させられなかった」という不自然な意味になります。完了動名詞の否定=not having done という語順を確実に覚えておきましょう。

- (36) 正解②:彼はチームの主将に選ばれたことを誇りに思っていた。

[解説]この問題は受動態の完了動名詞への書き換えを問う問題です。(a) の he had been chosen as captain は過去完了の受動態です。これを動名詞句にすると、having been+過去分詞を用いて having been chosen as captain となるため、②が正解です。① having chosen は「選んだこと」という能動、③ being chosen は受動態ですが完了の意味がありません。④ to have chosen は完了不定詞で、しかも能動の意味です。had been done ⇔ having been done の対応は重要な書き換えパターンです。

- (37) 正解①:彼女は若いころにあまりにも多くの時間を無駄にしたことを後悔している。

[解説]この問題は that 節と動名詞の書き換え—regret doing を問う問題です。regret doing は「～したことを後悔する」という意味なので、She regrets wasting so much time ... とするため、① wasting が正解です。② to waste は不定詞で、この文意では用いません。③ wasted は過去形・過去分詞、④ waste は原形です。regret doing「～したことを後悔する」と regret to do「残念ながら～する」では意味が異なるので、区別して覚えておきましょう。

- (38) 正解②:彼は以前どこかでその男性に会ったことを覚えていた。

[解説]この問題は remember+完了動名詞を問う問題です。(a) の he had met the man somewhere before は remembered より前の出来事なので、完了動名詞を用いて remembered having met the man とするため、② having met が正解です。① meeting でも文脈によって過去の経験を表せますが、この問題では過去完了 had met との対応を明確にするため having met が最適です。③ to meet は「忘れずにこれから会う」という未来志向の意味になり、④ being met は受動態です。remember doing「～したことを覚えている」/remember to do「忘れずに～する」の意味の違いにも注意しましょう。

- (39) 正解③:私はトムが放課後に私のコンピューターを使うことを気にしない。

[解説]この問題は that 節と意味上の主語を伴う動名詞の書き換えを問う問題です。mind doing は「～することを気にする」という意味で、(a) の that 節の主語 Tom を動名詞

using の意味上の主語として残し、I don't mind Tom using my computer ... とします。したがって③ using が正解です。① use は原形、② to use は不定詞ですが、mind は通常、不定詞を目的語に取りません。④ used は過去形・過去分詞です。mind A('s) doing「A が～することを気にする」は重要な語法です。

- (40) 正解②:彼女は私たちがもっと早い列車に乗ることを提案した。

[解説]この問題は suggest+動名詞と意味上の主語を問う問題です。suggest doing は「～することを提案する」という語法で、「列車に乗る」のは we なので、動名詞 taking の意味上の主語を所有格 our で表して suggested our taking an earlier train とします。したがって② our taking が正解です。① us to take は suggest が O+to do の形を取らないため誤りです。③ us take も不可、④ for us to take も suggest の目的語としては不適切です。suggest doing / suggest that S (should) do の2つの形をまとめて覚えましょう。

- (41) 正解③:難しい仕事を手伝ってくれたことを、私はあなたに感謝している。

[解説]この問題は appreciate+意味上の主語+動名詞を問う問題です。appreciate doing は「～することをありがたいと思う」という意味で、「手伝ってくれた」のは you なので、helping の意味上の主語を所有格 your で表して I appreciate your helping me ... とします。したがって③ helping が正解です。① help は原形、② to help は不定詞、④ helped は過去形・過去分詞です。appreciate A's doing「A が～してくれることをありがたいと思う」は、入試でもよく問われる形です。

- (42) 正解①:彼らとこの問題について議論してもむだである。

[解説]この問題は「～してもむだである」を表す動名詞の慣用表現を問う問題です。(a) の There is no point in discussing ... は「～について議論しても意味がない」という意味で、これとほぼ同じ意味になるのが It is no use discussing ... です。したがって① no use が正解です。② not use、③ no used は文法的に成立せず、④ no useful は形容詞 useful をこの位置に置くことができません。It is no use doing=There is no point in doing「～してもむだである」という書き換えは頻出です。

- (43) 正解①:私をだまそうとしてもむだである。

[解説]この問題は It is no use doing の語法を問う問題です。It is no use trying to deceive me. で「私をだまそうとしてもむだである」という意味になるため、① trying が正解です。② try は原形、③ to try は不定詞、④ tried は過去形・過去分詞で、いずれも no use の後には適しません。It is no use doing「～してもむだである」では、use の後に必ず動名詞を置くことを覚えておきましょう。

- (44) 正解①:電話は不通だ。電話を使おうとしてもむだである。

[解説]この問題は There is no use doing を問う問題です。There is no use trying to use the phone. で「電話を使おうとしてもむだである」という意味になるため、① trying が正解です。② to try は不定詞、③ try は原形、④ tried は過去形・過去分詞なので不適切で

す。There is no use doing は It is no use doing と同じく「～してもむだである」を表します。また、try to do「～しようとする」にも注意しましょう。

- (45) 正解③:彼を説得しようとしてもむだである。

[解説]この問題は It is no use doing の形を問う問題です。It is no use trying to persuade him. で「彼を説得しようとしてもむだである」となるため、③ trying が正解です。

① try は原形、② to try は不定詞、④ tried は過去形・過去分詞で、no use の後には置けません。さらに try to persuade A「Aを説得しようとする」という形になっている点も確認しましょう。no use の直後は V-ing と覚えておけば判断できます。

- (46) 正解①:そのことについて議論してもむだだ。彼は決して考えを変えないからだ。

[解説]この問題は It is no use doing の書き換えを問う問題です。It is no use arguing about it. で「そのことについて議論してもむだだ」となるため、① no use が正解です。② no point を使う場合は通常 There is no point in arguing ... の形にします。③ no good to は語法が不適切で、It is no good doing なら可能です。④ not useful は後ろに arguing をそのまま続けることができません。It is no use [good] doing と There is no point in doing の形の違いを整理しておきましょう。

- (47) 正解②:A:もう一度彼を説得してみたらどうですか。—B:誰の話も聞こうとしない彼と議論して何になるのですか。

[解説]この問題は What is the use of doing? の形を問う問題です。What is the use of arguing with him? は「彼と議論して何になるのですか」という意味になるため、② use が正解です。① point を使うなら What is the point of doing? のような形が必要です。③ meaning、④ reason はこの定型表現には入りません。What is the use of doing? 「～して何になるのか」は、実質的に「～してもむだだ」という否定的な意味を表します。

- (48) 正解③:そのような実りのない議論を続けても意味がない。

[解説]この問題は There is no point in doing を問う問題です。There is no point in continuing such a fruitless discussion. で「そのような実りのない議論を続けても意味がない」となるため、③ in が正解です。① at、② on、④ for は point とこの意味で結びつきません。There is no point (in) doing「～しても意味がない」では、in が省略される場合もあります。point in doing という前置詞との組み合わせまで覚えておきましょう。

- (49) 正解③:決して使わないのであれば、高価なコンピューターを持っても意味がない。

[解説]この問題は There is no point in doing の形を問う問題です。There is no point in having an expensive computer if you never use it. で「決して使わないのであれば、高価なコンピューターを持っても意味がない」となるため、③ in having が正解です。

① to have は不定詞、② for having は前置詞が不適切、④ to having も point の後の形として適しません。There is no point in V-ing はひとかたまりで覚えておきましょう。

- (50) 正解③:決して弾かないのであれば、ピアノを持っても意味がない。

[解説]この問題は There is no point in doing を問う問題です。There is no point in having a piano if you never play it. となるため、③ in having が正解です。① to

have は不定詞で、no point の後の標準的な形ではありません。② for having は前置詞が違い、④ to having も不適切です。There is no point in doing=It is no use doing「～してもむだである」という対応関係まで押さえておくと、書き換え問題にも対応できます。

- (51) 正解④:空いている席があるのに立っている意味はない。

[解説]この問題は There is no sense in doing の形を問う問題です。There is no sense in standing when there are seats available. で「空いている席があるのに立っている意味はない」という意味になるため、④ no sense が正解です。① one another「お互い」、② what is more「さらに」、③ each other「お互い」は、いずれも文意・文型に合いません。There is no sense in doing「～しても意味がない」は、There is no point in doing とほぼ同じ意味を表す重要表現です。

- (52) 正解③:写真を撮ることは許されていないので、カメラを持って行っても意味がない。

[解説]この問題は There is no point in doing の正しい語順を問う問題です。「カメラを持って行っても意味がない」は There is no point in taking a camera. と表すため、③ there's no point in taking が正解です。①・②の It's no point ... は不適切で、この表現では基本的に There is no point ... とします。④ there's no point to take は不定詞を用いているため誤りです。There is no point in V-ing を語順ごと覚えておきましょう。

6 to の後に動名詞をとる表現

6-1 look forward to A / doing

- (53) 正解④:私は来週故郷へ帰る。そのとき友人たちに会うのを楽しみにしている。

[解説]この問題は look forward to doing の語法を問う問題です。look forward to A / doing は「A を／～することを楽しみにする」という意味で、ここでの to は前置詞です。そのため、後ろには動名詞を置き、looking forward to seeing my friends とするため④ to seeing が正解です。① see は原形、② seeing だけでは前置詞 to が欠けています。③ to see は不定詞になってしまいます。to+V-ing となる代表表現として確実に覚えておきましょう。

- (54) 正解①:夏休みが近づくにつれて、私は友人たちに会うのを楽しみにしている。

[解説]この問題は look forward to doing の forward を問う問題です。定型表現は look forward to doing なので、① forward が正解です。② ahead は look ahead「先を見る」、③ toward は「～の方向へ」、④ up は look up「調べる」などで用いられますが、この文には合いません。look forward to meeting ～「～に会うのを楽しみにする」という形をひとかたまりで覚えておきましょう。

- (55) 正解④:A:東京旅行は楽しかったね。—B:うん、最高だった！またいつかそこへ行くのを本当に楽しみにしているよ。

[解説]この問題は look forward to doing を問う問題です。look forward to の to は前置詞なので、その後には動名詞を置きます。したがって look forward to going there again となるため、④ to going が正解です。① go、② going は to が欠け、③ to go は

不定詞になっています。見た目が不定詞の to と同じでも、前置詞の to の後は V-ing になることに注意しましょう。

- (56) 正解④:彼はサマセットにある小さな別荘で彼女と週末を過ごすのを楽しみにしていた。
 [解説]この問題も look forward to doing の語法を問う問題です。「週末を過ごすことを楽しみにする」は look forward to spending the weekend と表すため、④ to spending が正解です。① to spend は不定詞、② at spending と③ in spending は前置詞が誤りです。look forward to + 名詞 / V-ing の形では、to が前置詞であることを常に意識して判断しましょう。

- (57) 正解②:夏休みが近づくにつれて、私は友人たちに会うのを楽しみにしている。
 [解説]この問題は look forward to + 動名詞を問う問題です。look forward to meeting my friends が正しい形なので、② to meeting が正解です。① to meet は to 不定詞になっており、look forward to の後には使いません。③ for meeting は前置詞が誤り、④ to be meeting は不必要に進行形になっています。look forward to doing は大学入試で非常に頻出のため、迷わず選べるようにしておきましょう。

6-2 be used [accustomed] to A / doing

- (58) 正解①:私は緊張している。大勢の聴衆に向かって話すことに慣れていない。
 [解説]この問題は be used to doing「～することに慣れている」を問う問題です。ここでの to は前置詞なので、後ろには動名詞を置き、be used to speaking to a large audience とするため① to speaking が正解です。② to speak は不定詞で、be used to V-ing の形にはなりません。③ in speaking、④ of speaking は前置詞が誤りです。be used to doing と used to do「以前は～した」を混同しないようにしましょう。

- (59) 正解①:私は夜更かしすることに慣れている。
 [解説]この問題は be accustomed to doing の語法を問う問題です。be accustomed to A / doing は「A に／～することに慣れている」という意味なので、① accustomed が正解です。② enthusiastic は「熱心な」で、通常 be enthusiastic about とします。③ ordinary は「普通の」、④ usual は「通常の」で、この文型には入りません。be accustomed to doing = be used to doing とセットで覚えておきましょう。

- (60) 正解②:彼女は正式な手紙を書くことに慣れていない。
 [解説]この問題は be used to + 動名詞を問う問題です。be used to doing は「～することに慣れている」で、to は前置詞です。したがって She is not used to writing formal letters. となるため、② writing が正解です。① write は原形、③ writes は三人称単数現在形、④ written は過去分詞なので不適切です。前置詞の直後は名詞または V-ing という基本原則からも判断できます。

- (61) 正解④:A:この気候は気になりませんか。—B:少しは。でも、しばらくすると暑いことにも慣れるものです。
 [解説]この問題は get used to doing「～することに慣れる」を問う問題です。get used to being hot で「暑いことに慣れる」という意味になるため、④ to being が正解です。① be は

原形で to がありません。② for being は前置詞が誤り、③ to be は不定詞になっています。be used to doing「慣れている」が状態を表すのに対し、get used to doing「慣れる」は変化を表す点も押さえておきましょう。

- (62) 正解④:6 時に出発するのは構わない。私は早起きすることに慣れている。

[解説]この問題は be used to doing と used to do の識別を問う問題です。文脈は「私は早起きすることに慣れている」という現在の状態なので、I'm used to getting up early とするため、④が正解です。① I used to getting は used to do と be used to doing を混同しています。② I was used to get、③ I'm used to get も、前置詞 to の後に原形 get を置いているため誤りです。be used to V-ing「V することに慣れている」/used to V「以前は V した」の区別は必須です。

6-3 object to A / doing

- (63) 正解①:母は私が一人でその山に登ることに反対した。

[解説]この問題は object to doing と動名詞の意味上の主語を問う問題です。object to A / doing は「A に／～することに反対する」という意味で、to は前置詞です。「山に登る」のは my mother ではなく「私」なので、climbing の意味上の主語を所有格 my で表して objected to my climbing the mountain とするため、① to my climbing が正解です。② on my climbing は前置詞が誤り、③ for me to climb と④ me in climbing も object の語法には合いません。object to A's doing の形を覚えておきましょう。

- (64) 正解④:誰もその山に登ることに反対しなかった。

[解説]この問題は object to doing を問う問題です。object to の to は前置詞なので、後ろに動詞を置く場合は動名詞にして objected to climbing the mountain とします。したがって④ to climbing が正解です。① climb は原形、② for climbing は前置詞が誤り、③ to climb は不定詞になっています。look forward to / be used to / object to など はすべて to+V-ing となる代表表現としてまとめて覚えると効率的です。

- (65) 正解③:彼女は私が夜遅くまで働くことに反対しなかった。

[解説]この問題は object to+意味上の主語+動名詞を問う問題です。「夜遅くまで働く」のは she ではなく「私」なので、working の意味上の主語を所有格 my で表し、object to my working late at night とするため③ to my working が正解です。① me work は文法的に不適切です。② to me work は to の後に目的格+原形を置いており誤りです。④ my working では object の後に必要な前置詞 to が欠けています。object to A's doing「A が～することに反対する」を語順ごと覚えましょう。

- (66) 正解②:参加者たちは子どものように扱われることに反対した。

[解説]この問題は object to+受動態の動名詞を問う問題です。participants は「扱う」のではなく「扱われる」側なので、受動態の動名詞 being treated を用います。したがって objected to being treated like children となるため、②が正解です。① be treated は原形、③ have treated は能動の完了形、④ treat は原形で、いずれも前置詞 to の後には適しません。object to being done「～されることに反対する」まで使えるようにしましょう。

- (67) 正解②:私はこのように扱われることに強く反対する。

[解説]この問題は objection to + 動名詞を問う問題です。have an objection to A / doing は「A に／～することに反対する」という表現で、to は前置詞です。また「扱われる」という受動関係なので to being treated とするため、②が正解です。① to be は不定詞、③・④の whether 節も文法的には文脈によって可能な構造がありますが、この定型表現 objection to being treated を完成させる形ではありません。object to doing ⇔ have an objection to doing の対応も押さえておきましょう。

- (68) 正解④:私は彼がこの電話で私用の電話をかけることに反対する。

[解説]この問題は動名詞の意味上の主語を伴う object to doing を問う問題です。object to doing の to は前置詞で、「私用の電話をかける」のは him なので、動名詞 making の意味上の主語を所有格 his で表して object to his making private calls とします。したがって④ his making が正解です。① make は原形、② him to make は object がこの形を取らず、③ him make も不適切です。入試では前置詞 + 所有格 + V-ing の形がよく問われます。

- (69) 正解①:私はそのように扱われることに反対する。

[解説]この問題は object to being done を問う問題です。「そのように扱われることに反対する」は I object to being treated like that. と表すため、① to being treated が正解です。② to be treated は to を不定詞として扱っているため誤りです。③ to be treating は進行形の不定詞になり、意味も合いません。④ being treated は受動態の動名詞としては正しいものの、object の後に必要な前置詞 to がありません。object to の to は前置詞という点が判断の核心です。

6-4 when it comes to A / doing

- (70) 正解③:私はコンピューターを使うことはできるが、修理となると何も知らない。

[解説]この問題は when it comes to doing の語法を問う問題です。when it comes to A / doing は「A のこととなると／～することとなると」という意味で、to は前置詞です。そのため、when it comes to repairing them とするため、③ to repairing が正解です。① repair は原形で前置詞 to がなく、② for repairing は前置詞が誤りです。④ being repaired では「修理されること」という受動の意味になり、文意に合いません。when it comes to V-ing「V することとなると」は、会話文・長文の両方で頻出する重要表現です。to + V-ing となる表現をひとかたまりで見抜く力をつけておきましょう。

- (71) 正解④:走ることとなると、ジョンは間違いなくクラスで一番である。

[解説]この問題は when it comes to doing の形を問う問題です。When it comes to running, John is definitely the best in class. で「走ることとなると、ジョンは間違いなくクラスで一番だ」という意味になるため、④ to running が正解です。① for run、② for running は前置詞が誤り、③ to run は to 不定詞になっています。ここでの to は前置詞なので、その後には名詞または動名詞を置きます。look forward to V-ing / be used to V-ing / object to V-ing などと同じタイプとして整理すると覚えやすいでしょう。

- (72) 正解③:家を買うこととなると、誰もが非常に慎重になる。

[解説]この問題は when it comes to+動名詞を問う問題です。「家を買うこととなると」は when it comes to buying houses と表すため、③ to buying houses が正解です。① with houses bought は付帯状況の with 構文で、文の意味が異なります。② to buy houses は不定詞、④ in buying houses は前置詞が誤りです。when it comes to A / doing は、ある話題や分野に限定して述べるときに使われる表現です。to の後ろが V-ing になる理由を「前置詞だから」と説明できるようにしておくことが重要です。

- (73) 正解②:中華料理を作ることとなると、私の夫は専門家である。

[解説]この問題は when it comes to doing の語法を問う問題です。when it comes to cooking Chinese food で「中華料理を作ることとなると」という意味になるため、② to cooking が正解です。① to cook は不定詞、③ of cooking、④ for cooking は前置詞が誤りです。when it comes to V-ing は「V することについて言えば」という話題提示の表現でもあります。to が前置詞か不定詞かを区別する問題は頻出なので、前後の語法を確認して判断しましょう。

6-5 What do you say to A / doing?

- (74) 正解④:日曜日にテニスをするのはどうですか。

[解説]この問題は What do you say to doing?「～するのはどうですか」という提案表現を問う問題です。What do you say to playing tennis on Sunday? とするため、④ to playing が正解です。① about play は play が原形で、② to play は不定詞、③ for playing は前置詞が誤りです。What do you say to V-ing? の to は前置詞なので、その後には動名詞を置きます。How about V-ing? / What about V-ing? と同じく、相手に提案する表現としてまとめて覚えておきましょう。

- (75) 正解④:ひと休みするのはどうですか。

[解説]この問題は What do you say to doing? の語法を問う問題です。have a rest「ひと休みする」をこの表現に入れると、What do you say to having a rest? となるため、④ to having が正解です。① have は原形で前置詞 to がなく、② having だけでは to が欠けています。③ to have は不定詞です。What do you say to V-ing? は、相手の意向をたずねながら提案する表現です。to+V-ing の形をそのまま定型表現として覚えるのが最も確実です。

- (76) 正解③:コーヒーを一杯飲むのはどうですか。

[解説]この問題も What do you say to+動名詞を問う問題です。What do you say to having a cup of coffee? で「コーヒーを一杯飲むのはどうですか」となるため、③ to having が正解です。① to have は不定詞、② about having と④ for having は前置詞が誤りです。have a cup of coffee は「コーヒーを一杯飲む」という基本表現です。提案表現と動名詞の語法を同時に確認する問題として押さえておきましょう。

6-6 devote / dedicate / commit A to V-ing

- (77) 正解④:彼らの時間の大部分は、おそらく食料を集めることに費やされた。

[解説]この問題は devote A to doing の受動態を問う問題です。devote A to doing は「A を～することにささげる」で、受動態では A be devoted to doing となります。したがって Most of their time was probably devoted to collecting food. とするため、④ collecting が正解です。① collect は原形、② collection は名詞、③ collects は三人称単数現在形です。be devoted to V-ing の to は前置詞なので、後ろには動名詞を置きます。devote A to V-ing / be devoted to V-ing の両方を使えるようにしておきましょう。

- (78) 正解④:彼女は目の不自由な人々を助けることに人生をささげてきた。

[解説]この問題は devote A to doing の語法を問う問題です。devote one's life to doing は「～することに人生をささげる」という意味なので、She has devoted her life to helping blind people. とするため、④ helping が正解です。① have helped、② having been helping は形が過剰で、③ help は原形なので前置詞 to の後には置けません。devote・dedicate・commit はいずれも A to V-ing の形を取る重要動詞です。語法ごとまとめて覚えておくと効率的です。

- (79) 正解②:彼女は人生の多くを子どもたちの権利を守ることにささげた。

[解説]この問題は dedicate A to doing を問う問題です。dedicate A to doing は「A を～することにささげる」という意味なので、dedicated much of her life to protecting the rights of children とするため、② protecting が正解です。① protect は原形、③ be protected は受動態、④ have protected は完了形です。to は前置詞なので、その後には動名詞が必要です。dedicate oneself to V-ing「～することに専念する」という形もあわせて覚えておきましょう。

- (80) 正解②:その研究チームは、大気汚染を減らすよりよい方法を見つけることに専念している。

[解説]この問題は be dedicated to doing の語法を問う問題です。be dedicated to doing は「～することに専念している」という意味なので、The research team is dedicated to finding better ways ... とするため、② finding が正解です。① find は原形、③ be found は受動態、④ have found は完了形なので不適切です。be dedicated to V-ing の to は前置詞で、不定詞ではありません。「～に専念している」を表す be devoted to / be committed to と同じグループとして整理しておきましょう。

- (81) 正解③:その会社は、より環境に優しい製品を開発することにかかなりの時間と資金を投入してきた。

[解説]この問題は commit A to doing を問う問題です。commit A to doing は「A を～することに投入する／充てる」という意味なので、has committed considerable time and money to developing ... とするため、③ developing が正解です。① develop は原形、② developed は過去形・過去分詞、④ to develop は不定詞です。commit A to V-ing の to も前置詞なので、後ろには動名詞を置きます。commit oneself to V-ing「～することを約束する／専念する」も重要な関連表現です。

- (82) 正解②:その大学は、すべての学生に平等な教育機会を提供することに尽力している。

[解説]この問題は be committed to doing を問う問題です。be committed to doing は「～することに尽力している／専念している」という意味なので、is committed to providing equal educational opportunities とするため、② providing が正解です。① provide は原形、③ be provided は受動態、④ have provided は完了形です。be committed to V-ing は論説文・長文でもよく用いられる表現です。to を不定詞の印と決めつけず、前置詞かどうかを確認する習慣をつけましょう。

7 省略可能な in の後に動名詞をとる表現

7-1 have difficulty [trouble] (in) doing

- (83) 正解②:私は一人の生徒を別の生徒と見分けるのに少し苦労した。

[解説]この問題は have difficulty (in) doing「～するのに苦労する」を問う問題です。I had some difficulty in telling one student from another. とするため、② in telling が正解です。① and telling、③ to telling、④ on telling はいずれも語法に合いません。また、tell A from B「AとBを見分ける」も重要な表現です。have difficulty doing では in を省略できるため、両方の形を覚えておきましょう。difficulty の後に to 不定詞を置かないことも重要です。

- (84) 正解②:私たちは彼の新しい家を見つけるのに大変苦労した。

[解説]この問題は have difficulty doing の形を問う問題です。in は省略できるので、We had a lot of difficulty trying to find his new house. とするため、② trying to find が正解です。① to try arriving と③ to try to find は difficulty の後に不定詞を置いているため誤りです。④ trying to arrive では「到着しようとする」となり、家を「見つける」という意味に合いません。try to do「～しようとする」の語法も同時に問われています。複数の語法が重なる問題では、後続表現まで確認することが大切です。

- (85) 正解③:人々はしばしば私の筆跡を読むのに大変苦労する。

[解説]この問題は have trouble doing「～するのに苦労する」を問う問題です。People often have great trouble reading my handwriting. とするため、③ trouble reading が正解です。① reading to trouble、② reading trouble は語順が誤り、④ trouble to read は不定詞を置いているため不適切です。have trouble (in) V-ing は have difficulty (in) V-ing とほぼ同じ意味です。difficulty / trouble の後には V-ing とまとめて覚えておきましょう。

- (86) 正解①:初めのうち、人々があまりに速く話すと、私は彼らの言うことを理解するのに苦労した。

[解説]この問題は have difficulty (in) doing の語法を問う問題です。At first, I had difficulty in understanding people ... とするため、① in understanding が正解です。② for understanding は前置詞が誤り、③ to understand は不定詞、④ understand は原形です。in は省略可能なので、had difficulty understanding とする

こともできます。have difficulty to do とはしない点は、大学入試で繰り返し問われる重要事項です。

- (87) 正解③:リンダは16歳だったが、20歳で通るのに何の苦労もなかった。

[解説]この問題は have no trouble doing「苦勞せずに～する」を問う問題です。Linda had no trouble passing for twenty. とするため、③ passing が正解です。① pass は原形、② passed は過去形・過去分詞、④ past は「過ぎて」などを表す語で、この位置には入りません。また、pass for A「Aとして通る／Aと思われる」も重要な熟語です。have no trouble V-ing は「簡単に V できる」という意味にもつながることを押さえておきましょう。

7-2 be busy (in) doing

- (88) 正解③:ロビンソン夫人は台所で娘の料理を手伝うのに忙しかった。

[解説]この問題は be busy (in) doing「～するのに忙しい」を問う問題です。Mrs. Robinson was busy helping her daughter cook in the kitchen. とするため、③ helping が正解です。① help は原形、② to help は不定詞、④ for helping は前置詞が不適切です。また、help O (to) do では to を省略できるため、helping her daughter cook となっています。be busy V-ing の in は通常省略されることも覚えておきましょう。

- (89) 正解③:私は次の試験の準備で忙しい。

[解説]この問題は be busy doing の語法を問う問題です。I'm busy preparing for the next exam. とするため、③ preparing が正解です。① to prepare は不定詞、② about preparing は不要な前置詞が入り、④ prepared は過去分詞です。prepare for A「Aの準備をする」という語法も含まれています。be busy V-ing と動詞固有の前置詞を同時に確認することが、このタイプの問題では重要です。

- (90) 正解①:彼らは宿題をするのにとても忙しいのですね。

[解説]この問題は be busy (in) doing の語法を問う問題です。They are very busy doing their homework, aren't they? とするため、① doing が正解です。② to do は不定詞、③ to doing は不要な to が入り、④ being done は受動態で、「宿題がされる」という意味になってしまいます。be busy doing は「～するのに忙しい」を表し、in は通常省略されます。busy の後に to 不定詞を置かないことは、語法問題で頻出のポイントです。

- (91) 正解②:その高校生たちは試験の準備で忙しい。

[解説]この問題は be busy (in) doing と prepare for A の組み合わせを問う問題です。「試験の準備をする」は prepare for an examination と表し、be busy の後では prepare を動名詞にして are busy preparing for the examination とするため、② preparing for が正解です。① to prepare for は不定詞、③ prepared for は過去分詞、④ prepare for は原形なので不適切です。be busy V-ing「Vするのに忙しい」と prepare for A「Aの準備をする」の両方を正確に組み合わせることがポイントです。語法問題では、動名詞の形だけでなく、動詞と前置詞の結びつきまで確認する習慣をつけましょう。

- (92) 正解④:私たちの宇宙はまだ若い、理論家たちはその最終的な運命を探究するのに忙しい。

[解説]この問題は be busy doing の語法を問う問題です。theorists are busy

exploring its ultimate fate で「理論家たちはその最終的な運命を探究するのに忙しい」という意味になるため、④ exploring が正解です。① explore は原形、② to explore は不定詞、③ explored は過去形・過去分詞なので、この文型には入りません。be busy doing では、busy の後の行為を V-ing で表すことが基本です。busy to do としないという点を、have difficulty doing などの類似した動名詞表現とあわせて整理しておきましょう。

- (93) 正解①:彼女の母親は夕食を作るのに忙しかった。

[解説]この問題は be busy (in) doing における前置詞 in の省略を問う問題です。Her mother was busy cooking dinner. で「彼女の母親は夕食を作るのに忙しかった」となるため、① cooking が正解です。② to cook は不定詞、③ for cooking は不要な前置詞 for が入り、④ cooked は過去形・過去分詞なので不適切です。もともと be busy in doing と考えることができますが、現代英語では in を省略した be busy doing が一般的です。省略された前置詞 in の後に動名詞が続いていると理解しておくと、このタイプの問題を判断しやすくなります。

7-3 spend / waste A (in) doing

- (94) 正解②:私は残りの夜を勉強して過ごすべきだが、むしろテレビでお気に入りの番組を見たい。

[解説]この問題は spend+時間+(in) doing の語法を問う問題です。spend+時間+doing は「時間を～して過ごす」という意味なので、spend the rest of the evening studying とするため、② studying が正解です。① to study は不定詞、③ for studying は不要な前置詞が入り、④ study は原形なので不適切です。もともと spend+時間+in doing の in が省略された形と考えることができます。spend+時間・金+V-ing「～して時間・金を費やす」は、英作文でも使える重要な基本構文です。

- (95) 正解②:自分では変えられないことを心配して時間を無駄にしてはいけない。

[解説]この問題は waste+時間+(in) doing の語法を問う問題です。waste time doing は「～して時間を無駄にする」という意味なので、Don't waste your time worrying about things ... とするため、② worrying が正解です。① to worry は不定詞、③ worry は原形、④ worried は過去形・過去分詞なので不適切です。waste time doing は spend time doing と同じく、後ろに動名詞を置く代表的な表現です。ただし、spend は中立的な「費やす」、waste は「無駄に費やす」という意味の違いも押さえておきましょう。

8 前置詞+動名詞

8-1 on doing「～するとすぐに／～する際に」

- (96) 正解②:駅に着くとすぐに、私は彼を見つけることができた。

[解説]この問題は on doing「～するとすぐに」を問う問題です。On arriving at the station, I was able to find him. で「駅に着くとすぐに、私は彼を見つけることができた」となるため、② On arriving が正解です。① To arrive は不定詞、③ At arriving は前置詞が不適切で、④ By arriving は「到着することによって」という手段を表します。on doing は

as soon as S V / when S V に近い意味を表し、ある動作の直後に別の動作が起こることを示します。on + V-ing の主語は、原則として主節の主語と一致することにも注意しましょう。

- (97) 正解③: 警察官を見るとすぐに、彼は逃げようとした。

[解説] この問題は on + 動名詞の用法を問う問題です。「警察官を見るとすぐに」は On seeing the police officer と表すため、③ On seeing が正解です。① To see は不定詞、② At seeing は前置詞が不適切で、④ By seeing は「見ることによって」という手段を表してしまいます。on doing「～するとすぐに／～する際に」は、時間を表す副詞節を簡潔にした表現としてよく用いられます。On seeing ～ = When he saw ～ のように節へ書き換えられることも確認しておきましょう。

- (98) 正解①: その知らせを聞くと、彼女は静かにほほえんだ。

[解説] この問題は on doing「～すると／～するとすぐに」を問う問題です。On hearing the news, she smiled quietly. で「その知らせを聞くと、彼女は静かにほほえんだ」となるため、① On hearing が正解です。② To hear は不定詞、③ At hearing は前置詞が不適切で、④ By hearing は「聞くことによって」という手段を表します。ここでは「知らせを聞いたこと」が、その直後の smiled につながっているため on が最も自然です。on doing は「～したとき」だけでなく、文脈によって「～するとすぐに」という即時性を表すことを覚えておきましょう。

- (99) 正解②: ドアのところに着くと、その少年は大きな音でドアをノックした。

[解説] この問題は on doing と arrive at A の組み合わせを問う問題です。「ドアのところに着くと」は On arriving at the door と表すため、② On arriving が正解です。① To arrive は不定詞、③ By arriving は「到着することによって」という手段、④ At arriving は不自然な表現です。また、arrive at A「Aに到着する」という前置詞 at も必要です。on doing = when / as soon as S V という対応だけでなく、動詞そのものが要求する前置詞にも注意して解きましょう。

8-2 in doing「～する際に／～する過程で」

- (100) 正解④: 決断を下そうとする際には、適切な優先順位の感覚を保つことが重要である。

[解説] この問題は in doing「～する際に／～する過程で」を問う問題です。In trying to make a decision で「決断を下そうとする際に」という意味になるため、④ In trying が正解です。① At trying、② On trying、③ For trying は、この文脈では適切な意味になりません。in doing は、ある行為を行う「過程・場面」に焦点を当てて「～する際に」と表す用法です。on doing「～するとすぐに」や by doing「～することによって」との意味の違いを意識して区別しましょう。

- (101) 正解②: 毎日英語を使うことによって、英語力を向上させることができる。

[解説] この問題は by doing「～することによって」を問う問題です。By using English every day, you can improve your English skills. とすれば、「毎日英語を使うことによって」という手段・方法を表せるため、② By using が正解です。① To use は目的などを表す不定詞、③ On using は「使うと／使う際に」、④ For using は理由・用途などを表し、この文意には合いません。by + V-ing は手段・方法を表す代表的な形であり、英作文でも非常に利用

価値の高い表現です。「～することによって」と訳せる場合は、まず by doing を考えるとよいでしょう。

- (102) 正解③:物を捨てる代わりに再利用することによって、廃棄物の量を減らすことができる。

[解説]この問題は by doing「～することによって」を問う問題です。「物を再利用することによって廃棄物を減らす」という手段・方法の関係なので、By reusing things instead of throwing them away とするため、③ By reusing が正解です。① To reuse は不定詞、② On reusing は時間的な意味になり、④ For reusing も手段を表す形としては不適切です。また、後半の instead of doing「～する代わりに」でも動名詞が用いられています。一つの英文に複数の「前置詞＋V-ing」が含まれる場合、それぞれの前置詞の意味を区別することが重要です。

詳細解答解説(103)～(122)

8-3 without doing「～することなしに」

- (103) 正解②:彼は誰にも別れを告げずに部屋を出た。

[解説]この問題は without doing「～することなしに／～せずに」を問う問題です。without は前置詞なので、後ろに動詞を置く場合は動名詞にします。したがって without saying goodbye to anyone で「誰にも別れを告げずに」となるため、② without が正解です。① by は「～することによって」という手段、③ instead of は「～する代わりに」、④ on は「～するとすぐに」などを表すため、文意に合いません。without＋V-ing＝「V することなしに／V せずに」は、付帯状況を表す基本的な表現です。前置詞の後には動名詞を置くという原則から判断できるようにしましょう。

- (104) 正解②:父は、すべての窓が閉まっていることを確認せずに外出することは決していない。

[解説]この問題も without doing の用法を問う問題です。「確認せずに外出する」は go out without checking ... と表すため、② without が正解です。① by checking では「確認することによって」、③ on checking では「確認するとすぐに」、④ in checking では「確認する際に」となり、文意が変わります。また、check that S V「～であることを確認する」という形も使われています。never ... without doing「V せずに…することは決していない」は、結果として「…すると必ず V する」という意味になることも重要です。否定語と without が重なる英文では、文全体の意味を丁寧に捉えましょう。

8-4 for doing「～したことで／～することに対して」

- (105) 正解②:私は難しい課題を手伝ってくれたことについて彼女に感謝した。

[解説]この問題は thank A for doing「V してくれたことで A に感謝する」を問う問題です。thank A for B は「B のことで A に感謝する」という表現なので、動詞 help を続ける場合は動名詞にして thanked her for helping me とします。したがって② for helping が正解です。① at helping と③ by helping は前置詞が誤り、④ to help は不定詞なので thank A の後の語法に合いません。thank A for doing は apologize to A for doing「V したことを A に謝る」などとともに、for＋動名詞を取る重要表現です。動詞と前置詞をひとかたまりで覚えておきましょう。

(106) 正解①:その生徒は試験中にスマートフォンを使用したことで罰せられた。

[解説]この問題は be punished for doing「～したことで罰せられる」を問う問題です。for はここでは「～したことで」という理由・原因を表す前置詞なので、後ろには動名詞を置き、was punished for using his smartphone とするため、① for using が正解です。② with using、④ on using は前置詞が不適切で、③ to use は不定詞なので文意に合いません。for doing は「～するために」ではなく、「～したことで」という理由を表す場合がある点に注意しましょう。praise A for doing「～したことで A をほめる」なども同じ型として整理できます。

8-5 from doing「～することから」

(107) 正解②:すべての乗客は飛行中、携帯電話の使用を抑えるよう求められている。

[解説]この問題は refrain from doing「～することを控える」を問う問題です。refrain は from+動名詞を伴い、refrain from using their mobile phones とするため、② from using が正解です。① using だけでは必要な前置詞 from がなく、③ to use は不定詞、④ from use は use が動詞の原形なので不適切です。refrain from V-ing は「V するのを慎む・控える」というやや硬い表現で、案内文や公共施設での注意書きにもよく用いられます。prevent / keep / stop A from V-ing など、from+動名詞を取る表現とまとめて覚えると効果的です。

(108) 正解①:大雨のため、私たちは予定どおり野球の試合をすることができなかった。

[解説]この問題は keep A from doing「A が～するのを妨げる」を問う問題です。The heavy rain kept us from playing ... で「大雨が私たちが試合をするのを妨げた」という意味になるため、① from playing が正解です。② to play は不定詞、③ on playing、④ without playing はいずれも keep のこの語法には合いません。keep A from V-ing は、A が V することを何らかの原因が阻止することを表します。prevent A from V-ing / stop A from V-ing も「A が V するのを妨げる」という類似表現なので、セットで覚えておきましょう。

8-6 instead of doing「～する代わりに／～しないで」

(109) 正解③:彼は自分の失敗について不平を言う代わりに、そこから学ぼうとした。

[解説]この問題は instead of doing「～する代わりに」を問う問題です。of は前置詞なので、その後に動詞を置く場合は動名詞にして Instead of complaining about his mistake とします。したがって③ complaining が正解です。① complain は原形、② complained は過去形・過去分詞、④ to complain は不定詞なので、前置詞 of の後には置けません。instead of+名詞 / V-ing は「～の代わりに／～しないで」を表し、二つの行動を対比するときによく使われます。instead は副詞、instead of は前置詞句という品詞上の違いにも注意しましょう。

(110) 正解②:彼は翌日の大切な試験の勉強をする代わりに、テレビを見てその晩を過ごした。

[解説]この問題は instead of doing の語法を問う問題です。「試験勉強をする代わりに」は instead of studying for the important exam と表すため、② instead of が正解です。① without では単に「勉強せずに」、③ before では「勉強する前に」、④ by では「勉強

することによって」となり、テレビを見ることと勉強することの選択・対比が明確になりません。また、前半の *spend the evening watching television* にも動名詞が用いられています。*instead of doing* は「本来するはずの A ではなく B をする」という対比を表す点を押さえましょう。

9 動名詞を用いた慣用表現

9-1 There is no doing

(111) 正解②: 明日私たちに何が起こるかはわからない。

[解説] この問題は *There is no doing* 「～することはできない」という慣用表現を問う問題です。*There is no telling ...* は直訳すると「～を言うことはできない」で、そこから「～はわからない」という意味になります。したがって② *no telling* が正解です。① *no having told* は完了動名詞で意味が合わず、③ *not telling*、④ *not to tell* ではこの慣用表現になりません。*There is no telling what will happen.* 「何が起こるか分からない」は特に頻出の定型表現です。*There is no knowing ...* 「…は知りようがない」など、同じ型の表現にも応用できます。

(112) 正解③: 地震がいつ起こるかを予測することはできない。

[解説] この問題は *It is impossible to do* と *There is no doing* の書き換えを問う問題です。(a) の *It is impossible to tell ...* は「～を知ることは不可能である」という意味なので、*There is no telling when an earthquake will happen.* と書き換えられます。したがって③ *no telling* が正解です。① *nothing to tell* は「話すことが何もない」、② *not to tell* は不定詞の否定、④ *no teller* は「話す人がいない」という意味になり、いずれも文意に合いません。*There is no V-ing = It is impossible to V* という対応を覚えておきましょう。特に *There is no telling ~* は一つの熟語として扱えるようにしておくとう便利です。

(113) 正解②: ジョンがいつ姿を現すかはわからない。

[解説] この問題は *There is no telling ~* 「～はわからない」を問う問題です。*There is no telling when John will show up.* で「ジョンがいつ姿を現すかはわからない」という意味になるため、② *no telling* が正解です。① *telling not* は否定語の位置が不適切で、③ *not telling* と④ *not to tell* では *There is no doing* の定型表現になりません。また、*show up* は「姿を現す・現れる」という重要な句動詞です。*There is no telling + 疑問詞節* という形が非常によく用いられるため、後ろに *when・what・how* などが続く形にも慣れておきましょう。

(114) 正解①: 将来何が起こるかはわからない。

[解説] この問題も *There is no telling ~* の定型表現を問う問題です。*There is no telling what will happen in the future.* で「将来何が起こるかはわからない」となるため、① *no telling* が正解です。② *no tell* では動名詞になっておらず、③ *not telling*、④ *not to tell* も定型表現を作ることができません。ここでの *no + 動名詞* は単なる「動名詞の否定」ではなく、「～することは不可能だ」という意味を表します。*There is no V-ing* を見たら、機械的に「V することがない」と訳さず、「V することはできない」と捉えることが重要です。

(115) 正解③:彼らの口論がどれほど長く続くかはわからない。

【解説】この問題は There is no doing の構文そのものを問う問題です。定型表現は There is no telling ... なので、文頭には③ There が入ります。① He、② One、④ This を置いても is no telling につながる自然な構文にはなりません。There is no telling how long their quarrel will last. 全体で「彼らの口論がどれほど長く続くかはわからない」という意味です。ここでの there は場所を表す副詞ではなく、there is 構文を作る形式的な there です。There is no knowing / saying / telling ~ などの形をまとめて覚えておきましょう。

9-2 It goes without saying that S V

(116) 正解②:言うまでもなく、空腹は最高の調味料である。

【解説】この問題は It goes without saying that S V「～は言うまでもない」を問う問題です。(a) の Needless to say とほぼ同じ意味になるのが It goes without saying that ... なので、② without が正解です。① for、③ by、④ on ではこの慣用表現を作ることができません。直訳すると「それは言うことなしに通る」となり、そこから「わざわざ言う必要もない」という意味になります。Needless to say, S V=It goes without saying that S V は書き換え問題で頻出です。without が前置詞なので、後ろに動詞 say ではなく動名詞 saying が置かれている点にも注目しましょう。

(117) 正解①:ここは病院である。ペットが許可されていないのは言うまでもない。

【解説】この問題は It goes without saying that S V の完成形を問う問題です。「～は言うまでもない」は It goes without saying that ... と表すため、① It goes without saying が正解です。② Need I say more は「これ以上言う必要がありますか」という疑問文で、that 節をそのまま続けることはできません。③ One cannot but saying は cannot but do とすべきで、④ Regardless of saying も文意・語法ともに不適切です。It goes without saying that+完全な文という語順をそのまま覚えておきましょう。of course よりもやや硬く、論説文などでも用いられる表現です。

9-3 feel like doing

(118) 正解③:彼女は彼を泣きたい気持ちにさせるつもりではなかった。

【解説】この問題は feel like doing「～したい気がする」を問う問題です。like はここでは前置詞として働くため、その後には動名詞を置き、feel like crying で「泣きたい気がする」となります。したがって③ crying が正解です。① cried は過去形・過去分詞、② cry は原形、④ to cry は不定詞なので、この表現には入りません。また、make O feel like doing で「Oを～したい気持ちにさせる」という形になっています。feel like V-ing=want to V に近い意味ですが、より口語的で「～したい気分だ」というニュアンスを持つことも押さえましょう。

(119) 正解①:A:今日は何をしたいですか。—B:ドライブに行きたい気分です。

【解説】この問題は feel like doing の語法を問う問題です。「ドライブに行きたい気分だ」は feel like going for a drive と表すため、① going が正解です。② I go、③ I'm going は節なので like の後には置けず、④ to go は不定詞なので誤りです。また、go for a drive「ドライブに出かける」も重要な表現です。feel like の like は「～のような」という接続詞では

なく、ここでは前置詞として働いているため、その後に V-ing が必要になります。feel like doing は日常会話でも頻繁に用いられる表現です。

- (120) 正解④:今夜は早く寝たい気分だ。

[解説]この問題は feel like doing「～したい気がする」を問う問題です。「早く寝たい気分だ」は I feel like going to bed early tonight. と表すため、④ going が正解です。① go は原形、② go up は「上がる」などの意味になり、③ to go は不定詞なので feel like の後には置けません。また、go to bed「寝る・床につく」は sleep「眠る」とは異なり、寝床に入る動作を表します。feel like+V-ing の形を覚えるだけでなく、後続する熟語 go to bed まで正確に判断することが大切です。

- (121) 正解④:少し頭痛がするので、今夜は外出したい気分ではない。

[解説]この問題は feel like doing の否定形を問う問題です。I don't feel like going out tonight. で「今夜は外出したい気分ではない」という意味になるため、④ feel が正解です。① look like は「～のように見える」、② mean は「意味する・意図する」、③ wish は通常 wish to do などの形を取り、この文型には入りません。feel like doing を否定するときは、動名詞の直前に not を置くのではなく、通常 don't feel like doing と feel を否定します。feel like doing / don't feel like doing を肯定・否定のセットで覚えておきましょう。

9-4 far from doing「～するどころか／決して～ではない」

- (122) 正解③:問題を解決するどころか、その新しい政策は実際には問題をさらに複雑にしました。

[解説]この問題は far from doing「～するどころか／決して～ではない」を問う問題です。Far from solving the problem で「問題を解決するどころか」という意味になるため、③ from が正解です。① at、② by、④ with ではこの慣用表現を作ることができません。from は前置詞なので、その後には動名詞 solving が置かれています。far from V-ing は、予想される内容とは反対の結果を強調するときに用いられる重要表現です。far from+名詞・形容詞「～からほど遠い」という基本的な意味とのつながりも理解しておく覚えやすくなります。

- (123) 正解②:彼の説明は、聴衆全員を満足させるにはほど遠いものだった。

[解説]この問題は far from doing「～するどころか／決して～ではない」を問う問題です。far from satisfying everyone in the audience で「聴衆全員を満足させるにはほど遠い」という意味になるため、② satisfying が正解です。① satisfy は原形、③ to satisfy は不定詞、④ satisfied は過去分詞なので、前置詞 from の後には適しません。far from+V-ing では、from が前置詞なので動名詞を置くという基本が判断のポイントです。far from satisfactory「満足のいくものにはほど遠い」のように、後ろに形容詞が来る場合もあります。

9-5 rather than doing「～するよりむしろ」

- (124) 正解①:その問題について不平を言うよりも、実質的な解決策を見つけることに注意を向けるべきである。

[解説]この問題は rather than doing「～するよりむしろ」を問う問題です。Rather than complaining about the problem で「その問題について不平を言うよりも」という意味にな

るため、① complaining が正解です。② being complained は受動態、③ been complained は不完全な形、④ is complain は文法的に成立しません。ここでは後半の focus our attention on finding ... と対比して、行動 A ではなく行動 B を選ぶ構造になっています。rather than + V-ing は、二つの行為を対比する際に非常によく使われる表現です。

(125) 正解①: 政府は深刻化する問題に真剣に対処するよりも、国民の懸念を無視し続けた。

[解説] この問題も rather than doing を問う問題です。rather than addressing the growing problem seriously で「深刻化する問題に真剣に対処するよりも」となるため、① addressing が正解です。② being addressed は受動態で、「政府が対処される」という不自然な意味になります。③ be addressing はこの位置では不適切で、④ having address は having の後に過去分詞 addressed が必要です。address a problem「問題に対処する」は前置詞を取らない他動詞であることもあわせて確認しておきましょう。rather than doing では、比較される二つの行為の意味関係を丁寧に見ることが大切です。

9-6 in the event of A / doing

(126) 正解①: ジムが来ない場合には、私たちはほかの誰かを探さなければならない。

[解説] この問題は in the event of A / doing「A の場合／～する場合」と、動名詞の意味上の主語・否定を問う問題です。「ジムが来ないこと」は Jim not coming と表すため、①が正解です。② coming not Jim は語順が誤り、③ not Jim coming は否定語の位置が不自然で、④ Jim coming not も標準的な語順ではありません。動名詞の否定は基本的に not + V-ing とし、その前に意味上の主語を置きます。in the event of A = if A happens と考えると意味をつかみやすくなります。

9-7 worth doing

(127) 正解②: この小説は読む価値がある。

[解説] この問題は be worth doing「～する価値がある」を問う問題です。This novel is worth reading. で「この小説は読む価値がある」となるため、② reading が正解です。① read は原形、③ to read は不定詞、④ to be read は受動態の不定詞です。worth の後には動名詞を置き、その動名詞は能動形でも受動の意味を表すことが重要です。したがって This novel is worth reading. = This novel is worthy of being read. のように考えることができます。be worth V-ing は語法問題で非常によく問われます。

(128) 正解②: この交響曲は本当の傑作だ。何度も繰り返して聴く価値があると思う。

[解説] この問題は be worth doing と listen to A の組み合わせを問う問題です。worth listening to over and over again で「何度も繰り返して聴く価値がある」となるため、② listening to が正解です。① be listened to は原形の受動態、③ to be listened to と④ to listen to は不定詞なので、worth の後には置けません。また、listen は自動詞なので、目的語を取るときには前置詞 to が必要です。worth V-ing では能動形が受動の意味を持つという特徴を再確認しておきましょう。

- (129) 正解③:そのプロジェクトの推定費用は検討する価値がある。

[解説]この問題も worth doing の語法を問う問題です。It is worth considering the estimated cost of the project. で「そのプロジェクトの推定費用は検討する価値がある」となるため、③ considering が正解です。① to consider は不定詞、② in considering は不要な前置詞 in が入り、④ considered は過去分詞です。worth は形容詞ですが、後ろに to 不定詞ではなく動名詞を取る点が重要です。be worth doing=～する価値があるをひとかたまりで覚えておきましょう。

9-8 come near doing

- (130) 正解③:彼女は母親を見て、危うく泣きそうになった。

[解説]この問題は come near (to) doing「もう少しで～するところである」を問う問題です。came pretty near to crying で「危うく泣きそうになった」という意味になるため、③ crying が正解です。① cried は過去形、② cry は原形、④ being cried は受動態で不自然です。ここでは to が前置詞として用いられているため、その後には動名詞を置きます。come near doing / come near to doing の両方が用いられることを押さえておくと、形の違いに惑わされません。

- (131) 正解①:ジョンは昨夜、危うくトラックにひかれるところだった。

[解説]この問題は come near doing と受動態の動名詞を問う問題です。John は「ひく」のではなく「ひかれる」側なので、being+過去分詞を用いて came near being run over by a truck とします。したがって① being run が正解です。② to be run は不定詞、③ running では「ジョンが走る」という能動の意味になり、④ to run も不定詞です。run over A「Aを車でひく」は受動態では A be run over となります。come near being done「もう少しで～されるところである」まで使えるようにしましょう。

9-9 come close to doing「もう少しで～するところである」

- (132) 正解②:その登山者は突然の吹雪で、危うく命を落とすところだった。

[解説]この問題は come close to doing「もう少しで～するところである」を問う問題です。came close to losing his life で「危うく命を落とすところだった」となるため、② losing が正解です。① lose は原形、③ be lost は受動態、④ have lost は完了形で、前置詞 to の後には適しません。come close to の to は前置詞なので、動詞を続ける場合には必ず V-ing にします。come close to doing=come near doing とほぼ同じ意味を表すため、セットで覚えておきましょう。

- (133) 正解①:その会社は最大の顧客を失った後、危うく倒産するところだった。

[解説]この問題は come close to doing と go bankrupt の組み合わせを問う問題です。came close to going bankrupt で「危うく倒産するところだった」となるため、① to going が正解です。② to go は to を不定詞として扱っているため誤りで、③ for going、④ going も必要な前置詞 to を欠いています。go bankrupt「倒産する」の go は「～の状態になる」という変化を表します。前置詞 to+V-ing になる表現を正確に見抜くことが、この問題のポイントです。

9-10 How about / What about + V-ing

(134) 正解①: 歩く代わりに、駅までタクシーに乗るのはどうですか。

[解説] この問題は How about doing? 「～するのはどうですか」を問う問題です。How about taking a taxi to the station? で提案を表すため、① about taking が正解です。② about to take は about の後に不定詞を置いており不適切です。③ to take、④ taking だけでは How about の定型表現になりません。about は前置詞なので、その後には動名詞を置くことが基本です。How about V-ing? = What about V-ing? と考え、提案表現としてまとめて覚えておきましょう。

(135) 正解③: 決断を下す前に、その問題について先生と話し合うのはどうですか。

[解説] この問題は What about doing? の語法を問う問題です。What about discussing the problem with your teacher? で「その問題について先生と話し合うのはどうですか」となるため、③ about discussing が正解です。① about discuss は前置詞 about の後が原形になっており誤りです。② to discuss は不定詞、④ discussing だけでは about が欠けています。What about + V-ing? は相手に提案・選択肢を示すときによく使われる表現です。about + 動名詞という形を崩さずに覚えましょう。

(136) 正解①: 最終決定をする前に、しばらく待つのはどうですか。

[解説] この問題も How about doing? の形を問う問題です。How about waiting for a while ...? で「しばらく待つのはどうですか」となるため、① about waiting が正解です。② about to wait は不定詞、③ to wait では How about の形にならず、④ waiting だけでも about が欠けています。for a while 「しばらくの間」も合わせて確認しておきましょう。How about V-ing? は、命令文よりも柔らかく相手に提案する表現として使われます。

(137) 正解③: 大学を選ぶ前に、両親に助言を求めるのはどうですか。

[解説] この問題は What about doing? を問う問題です。「両親に助言を求める」は ask your parents for advice なので、What about asking your parents for advice ...? とするため、③ about asking が正解です。① about ask は原形、② to asking は不要な to が入り、④ asking だけでは about がありません。ask A for B 「A に B を求める」という動詞の語法も同時に確認しておく必要があります。定型表現 + 動詞固有の語法をセットで見ることが、入試問題では重要です。

10 V + 動名詞

10-1 need doing 「～される必要がある」

(138) 正解②: 私の作業着は洗う必要があるが、今は洗濯する時間がない。

[解説] この問題は need doing 「～される必要がある」を問う問題です。My work clothes need washing. は「私の作業着は洗われる必要がある」という意味で、need to be washed と同じ内容を表します。したがって② washing が正解です。① wash は原形、③ be washed は need の後に to がなく、④ to wash では作業着が「洗う」側になってしまい

ます。need V-ing は能動形の動名詞で受動の意味を表すという特殊な用法です。need doing=need to be done の書き換えを必ず覚えておきましょう。

- (139) 正解③: エンジンの調子がおかしい。修理する必要があるようだ。

[解説] この問題も need doing=need to be done を問う問題です。engine は「修理する」のではなく「修理される」ものなので、it needs repairing とするため③ needs repairing が正解です。① must repair では engine が修理する側になり、② needs to repair も同様に能動の意味になります。④ is necessary to repair は、形式主語 it として解釈すると「修理することが必要だ」となりますが、ここでの it は engine を指しているため不適切です。物+need V-ing では受動関係を疑うことが重要です。

- 10-2 want doing「～される必要がある」= want to be done

- (140) 正解②: 台所の床は、今晚客が到着する前に掃除する必要がある。

[解説] この問題は want doing「～される必要がある」を問う問題です。The kitchen floor wants cleaning. は The kitchen floor wants to be cleaned. と同じ意味なので、② cleaning が正解です。① clean は原形、③ to cleaning は文法的に不適切で、④ cleaned は過去分詞だけなので want の目的語になりません。ここでの want は一般的な「～したい」という意味ではなく、物を主語として「～される必要がある」というやや古風な用法です。want doing=want to be done の対応をそのまま覚えておきましょう。

- (141) 正解④: この古い時計は、再び使えるようになる前に修理する必要がある。

[解説] この問題も want doing の受動的意味を問う問題です。This old watch wants repairing. で「この古い時計は修理される必要がある」という意味になり、wants to be repaired と書き換えられるため④ repairing が正解です。① repair は原形、② to repairing は不適切な形、③ repaired は過去分詞だけなので目的語になりません。need doing / want doing はどちらも動名詞が受動の意味を表す点が共通しています。二つをまとめて整理しておく判断しやすくなります。

- 10-3 deserve doing「～される価値がある／～されて当然である」

- (142) 正解②: 最終決定を下す前に、彼の提案はもっと慎重に検討する価値がある。

[解説] この問題は deserve doing「～される価値がある／～されて当然である」を問う問題です。His proposal deserves considering more carefully. で「彼の提案はもっと慎重に検討される価値がある」となるため、② considering が正解です。① consider は原形、③ to considering は不適切で、④ considered は過去分詞だけなので目的語にはなりません。deserve V-ing も、need V-ing と同様に、能動形の動名詞で受動の意味を表すことができます。deserve doing=deserve to be done という対応を覚えておきましょう。

- (143) 正解③: この問題は地域社会の全員に影響するので、より詳しく議論する価値がある。

[解説] この問題も deserve doing の語法を問う問題です。This issue deserves discussing in greater detail. で「この問題はより詳しく議論される価値がある」という意味になるため、③ discussing が正解です。① discuss は原形、② to discussing は文法的に不適切で、④ discussed は過去分詞だけでは目的語になりません。discuss は他動詞なの

で discuss about A とはしない点にも注意が必要です。deserve V-ing=deserve to be V-ed という受動的な意味を意識して解きましょう。

11 動名詞と不定詞・類似表現の識別

11-1 be used to V-ing / be used to V / used to V

(144) 正解②:彼女は最初、都会生活を難しいと感じたが、今では混雑した地域で暮らすことに慣れている。

[解説]この問題は be used to V-ing「V することに慣れている」を問う問題です。she is now used to living in a crowded neighborhood とするため、② to living が正解です。① to live は不定詞、③ for living は前置詞が誤りで、④ living だけでは be used の後に必要な to がありません。ここでの to は前置詞なので、その後には名詞または動名詞を置きます。be used to V-ing / get used to V-ing を used to V「以前は V した」と区別することが最重要ポイントです。

(145) 正解③:この小さな装置は、タンク内の水の量を測定するために使われる。

[解説]この問題は be used to V「V するために使われる」を問う問題です。ここでは This small device is used to measure ... とし、「測定するために使われる」という用途を表すため、③ to measure が正解です。① to measuring は be used to V-ing「～することに慣れている」の形になり、主語 device には意味が合いません。② for measure は measure を名詞として扱うには不自然で、④ measuring だけでは構文が完成しません。be used to V=V するために使われると、be used to V-ing=V することに慣れているを必ず対比して覚えましょう。

(146) 正解②:私の祖父は若いころ、毎朝歩いて仕事に行ったものだった。

[解説]この問題は used to V「以前はよく V した／以前は V だった」を問う問題です。My grandfather used to walk to work ... とするため、② to walk が正解です。① to walking は be used to V-ing と混同した形で、③ for walking、④ walking も used の後の形として不適切です。used to V は過去の習慣・状態を表し、現在はそうではないという含みを持つことがあります。be used to V-ing / be used to V / used to V の3つを形と意味の両面から区別できるようにしましょう。

(147) 正解③:すでに起こってしまったことを心配してもむだである。

[解説]この問題は There is no use doing「～してもむだである」を問う問題です。There is no use worrying about what has already happened. とするため、③ worrying が正解です。① worry は原形、② to worry は不定詞、④ worried は過去形・過去分詞なので、no use の後には適しません。There is no use V-ing=It is no use V-ing で「V してもむだだ」という意味を表します。no use の直後は動名詞という形を確実に覚えておきましょう。

11-2 like V-ing / like to V / feel like V-ing

- (148) 正解②:私の姉は寝る前に英語の小説を読むのが好きである。

[解説]この問題は like to V と like V-ing の識別を問う問題です。選択肢の中では likes to read novels in English が自然な形なので、② to read が正解です。① read は原形だけでは like の目的語にならず、③ for reading と④ to reading はこの語法には合いません。like to V と like V-ing はどちらも「V するのが好きだ」と訳せることがありますが、前者は個別の行為・選択、後者は一般的な好みを表しやすい傾向があります。入試では、まず like の後には to V または V-ing が可能という基本を押さえましょう。

- (149) 正解③:水泳やジョギングのような活動は、健康を維持するよい方法である。

[解説]この問題は前置詞 like+動名詞を問う問題です。ここでの like は動詞「好む」ではなく、前置詞「～のような」として使われています。そのため後ろには名詞相当語句を置き、Activities like swimming and jogging ... とするため、③ swimming が正解です。① to swim は不定詞、② swim は原形、④ to swimming は不要な to が付いています。like は動詞にも前置詞にもなるので、品詞を見分けることが重要です。文中で like の直前に名詞 Activities があることも、前置詞だと判断する手掛かりになります。

- (150) 正解③:私はかなり疲れているので、今夜は外出したい気分ではない。

[解説]この問題は feel like doing「～したい気がする」を問う問題です。I don't feel like going out tonight で「今夜は外出したい気分ではない」となるため、③ going が正解です。① to go は不定詞、② go は原形、④ to going は不要な to が付いています。ここでの like は前置詞として働くため、後ろには動名詞を置きます。feel like V-ing=Vしたい気がするという形は、単なる like V-ing「V することが好きだ」とは意味が異なるため、両者を混同しないようにしましょう。